



南部教育事務所便り「南の風」

令和5年7月20日 南部教育事務所 第3号

南部教育事務所第1回「地区別研修会」を開催しました

令和5年6月27日(火)に、南部教育事務所第1回「地区別研修会(オンライン)」が行われました。この会は「南部教育事務所管内の教員の授業力向上を図る」ことが目的です。小学校は「第5学年担任」「国語科主任」「算数科主任」、中学校は「2学年担当の国語科担当及び数学科担当」が対象です。教職経験年数5年未満の教諭や講師等も、希望される場合は申込みを受け付けております。

対象者の取組を通して、学校全体に授業改善の取組を広げてもらうことが一つの目標になります。

第1回の内容は、「南部教育事務所が行う、授業力向上に係る取組について」、「授業改善に係る管内の好事例について」でした。研修会に参加された先生方の振り返りの一部を紹介します。



Q. 第2回地区別研修会までに、授業改善を行うにあたって特に力を入れて行いたいこと。

【学力向上担当：川崎】

- 教師の話しすぎについて私自身心当たりがあるので、ファシリテーターとしての役割を意識して授業改善を行っていきたい。
- 説明の中にあつた、学校マネジメント訪問記録集の「〇〇スタイル授業の10の約束事」の内容が、基本的な事項であるが、自分に足りていないと感じたので、参考に授業実践したいと思った。
- 学年にあつた指導事項や、クラスにあつた授業の進め方を指導案や先生方の公開授業、授業見学や先輩方の助言を通して行いたい。
- 好事例を参考にしながら、「学びの見届け」に力を入れたい。日々の学習の見届け、単元の学びの見届け、学期の見届け、学年の見届けなど、様々なスパンで子どもたち全員に力がついているのか、どんな手立てが必要なのかを常に考えていきたい。
- 日々の授業の中で、「めあて」と「まとめ」の整合性がある内容になったものを提示すること。また、まとめを子ども自身の言葉でめあてに対応する内容のものを記入できるように、子どもからの疑問等をめあてにすること。これらを日々の授業の中で特に力を入れていきたい。
- 学習内容が子どもたちのものになるように、課題意識をしっかりとめさせることができるような導入の在り方を追究したい。

ユニバーサルデザインの視点を取り入れた「分かる!」「できる!」学校全体で取り組む授業の土台づくりハンドブック

「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた分かる!できる!学校全体で取り組む授業の土台づくりハンドブック」は、小・中学校の通常の学級における、分かりやすい授業づくりや過ごしやすい学びの場づくりの推進を目的としています。

学校全体で分かりやすい授業づくりを推進するために、

- ・『すべての子どもを対象とした校内支援体制の在り方』
- ・『すべての子どもにとって過ごしやすい環境づくり』
- ・『「分かる」「できる」を実感できる授業づくりの進め方』

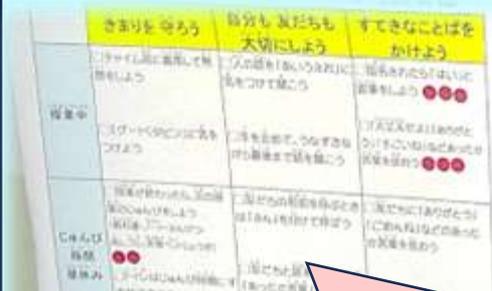
という3つの視点が設定され、それぞれ実践事例等を掲載しています。特にすべての子どもにとって過ごしやすい環境づくりは、多くの学校で実践されています。

二次元コードからアクセスできます。

【担当：齊藤】



学校訪問にて、すべての子どもを対象にした校内支援体制として、スクールワイドPBSの手法を取り入れた掲示物を見つけました。



めあての行動化ができていると、赤シールが貼られます。赤シールで視覚的に確認できるので、できたことの実感がわかります。

南部教育事務所のホームページでも、随時情報を発信しています。研修等にご利用ください。

<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/ssc063>

南部教育事務所HPはこちら

Tel (0986)23-4521

Fax (0986)25-8914

